



平成 26 年 2 月 26 日

各 位

会 社 名 株式会社うかい
代表者名 代表取締役社長 大工原 正伸
(コード番号:7621 J A S D A Q)
問合せ先 取締役管理本部長 潮 一生
電 話 (042)666-3333

第三者割当による自己株式の処分に関するお知らせ

当社は、平成 26 年 2 月 26 日開催の取締役会において、以下のとおり、第三者割当による自己株式の処分（以下「本第三者割当」といいます。）を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。

1. 処分要領

| | |
|-------------------------|---|
| (1) 処 分 期 日 | 平成 26 年 3 月 14 日 |
| (2) 処 分 株 式 数 | 普通株式 550,000 株 |
| (3) 処 分 価 額 | 1 株につき 2,274 円 |
| (4) 調 達 資 金 の 額 | 1,250,700,000 円 |
| (5) 募集又は割当方法 (処分予定先) | 第三者割当の方法により、以下の処分予定先に対して以下の株式数を割当てます。 京王電鉄株式会社 300,000 株 キッコーマン株式会社 250,000 株 |
| (6) そ の 他 | 前記各号については、金融商品取引法による有価証券届出書の効力発生を条件とする。 |

2. 処分の目的及び理由

(1) 本第三者割当の目的及び理由

昭和 39 年に奥高尾の山里にて産声を上げた当社は、「100 年続く店づくり」の御旗を掲げ、今年で創業 50 周年の節目を迎えます。これまで、常にお客様とともに歩み、お客様の喜びを自分の喜びと感じ、「おもてなしの心」を今日まで繋いでまいりましたが、折り返し地点に到達した現在、次の 50 年のさらなる成長を展望すると、今後予想される厳しい経営環境を当社単独で克服していくのではなく、志を同じくし夢の共有ができる方々との連携を強化していくべきだ、との考えに至りました。換言すれば、外食国内市場の構造的縮小という困難に接した

としても、日本の食の代表として、「オールジャパン」のコンソーシアムを組成することで強い日本ブランドを築き上げ、国内のみならず世界中を食の喜びで満たしていくという、壮大な成長戦略をイメージするに至ったということでございます。

一方、足元の自社財務内容を省みますと、株主資本比率は2012年度末実績33.6%と、当社調べにより業界平均46.6%に比べて低く、また借入金対売上高比率も2012年度末実績45.9%となっており、借入金への依存度が高いという実情がございます。今後の環境変化への対応に万全を期すとともに、借入金への依存度を下げ、資金的な制約条件から解き放たれて自由に戦略の設定ができる環境を整備するという観点からも、さらに強固な財務基盤の確立を目指す必要があるものと考え、保有する自己株式の活用方法について様々な視点から検討を重ねてまいりました。

以上のような背景の中で、今回、京王電鉄株式会社様とキッコーマン株式会社様からご縁をいただき、「志を同じくし夢の共有ができる最良のパートナー」として、両社に対して自己株式処分による第三者割当を行うことにいたしました。

(2) 第三者割当による資金調達方法を選択した理由

上記「(1) 本第三者割当の目的及び理由」に記載のとおり、当社の株主資本比率は業界平均に比べて低く、また借入金への依存度が高いという実情がございます。そのため、財務の健全性を確保しつつ、長期的かつ安定的な資金をもとに成長戦略を実行していくには、株主資本を充実させることが望ましいと考え、エクイティ・ファイナンスによる資金調達が最善の方法であると判断いたしました。さらに当社は、公募増資や株主割当といった手法も検討いたしましたが、将来的に相乗効果が期待できる企業との関係を築き、迅速かつ確実な資金調達をすることができる第三者割当を行うことにいたしました。

3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期

(1) 調達する資金の額

| | |
|-------------|----------------|
| ① 払込金額の総額 | 1,250,700,000円 |
| ② 発行諸費用の概算額 | 3,000,000円 |
| ③ 差引手取概算額 | 1,247,700,000円 |

(注) 発行諸費用の概算額の内訳は、書類作成費用、弁護士費用、その他費用等になります。

(2) 調達する資金の具体的な使途

| 具体的な使途 | 金額(円) | 支出予定時期 |
|-----------|---------------|-----------------|
| ① 借入金の返済 | 1,097,700,000 | 平成26年3月 |
| ② 設備投資資金等 | 150,000,000 | 平成26年3月～平成26年5月 |

(注) 1. 調達資金を実際に支出するまでは、銀行口座にて管理いたします。

2. 上記使途についての具体的な内容は以下のとおりです。

①借入金の返済

平成25年7月19日に取引金融機関6行から調達した7億円の借入金（自己株式取得資金、平成26年2月25日現在残高656,200千円、平成25年5月17日「特定の株主からの自己株式取得に関するお知らせ」ご参照）の全額、および平成25年3月15日に調達した取引金融機関6行をシンジケート団とするシンジケートローン52億円（リファイナンスリスク解消を目的とした既存借入金の全額借換資金、平成26年2月25日現在残高4,712,500千円、平成25年3月12日「シンジケートローン契約締結及び営業外費用計上に関するお知らせ」ご参照）の一部441,500千円の返済に充当する予定です。借入金の返済を行うことによって、株主資本比率は41.80%に改善されます。また借入金対売上高比率は35.37%（いずれも2013年度末当社予想）、支払利息の減少による損益改善効果9,458千円（2014年度当社予想）と、当社の財務基盤はさらに改善されます。

②設備投資資金等

平成26年4月14日に開店予定の（仮称）「銀座 kappou ukai」（平成25年9月24日「新規出店に関するお知らせ」ご参照）の設備投資資金120,000千円、及び食器その他の消耗品の一括購入資金等30,000千円、合計150,000千円に充当する予定です。この新店は、世界の厳選された食材を和洋の美味に凝縮させて表現する「うかいの新たな割烹料理」で、料理・おもてなし・独自の店づくりが三位一体となったうかいの新ブランドとなります。当社の店舗を既にご利用いただいているお客様に対して新たなニーズを創出することができ、また潜在顧客に対しても当社店舗の利用を訴求することができます。初年度売上高は、250百万円を見込んでおります。

4. 資金使途の合理性に関する考え方

当社は、本第三者割当により調達した資金を、上記「3.（2）調達する資金の具体的な使途」に記載のとおり、借入金の返済及び設備投資資金に充当することを予定しております。当社は本第三者割当により、強固な財務基盤の確立と新たな収益源の確保を目指すと同時に将来的に相乗効果が期待できる企業との良好なパートナーシップを築くことで、当社の企業価値が向上し、既存株主の皆さまの利益拡大に繋がるものと考えており、本第三者割当の資金使途について合理性があるものと考えております。

5. 処分条件等の合理性

(1) 払込金額の算定根拠及びその具体的内容

処分価額につきましては、本第三者割当に係る取締役会決議日の前営業日までの直近1ヶ月間（平成26年1月27日から平成26年2月25日）の株式会社東京証券取引所JASDAQスタンダード市場における当社普通株式の終値の単純平均値である2,274円（円未満切捨て）としております。直前1ヶ月間の平均値を採用いたしましたのは、一定の日の最終価格のような特定の一時点を基準とするよりも、一定期間の平均株価という平準化された値を採用する方が、一時的な株価変動の影響などの特殊要因を排除でき、また直近3ヶ月、直近6ヶ月と比較して、直近のマーケットプライスに最も近い一定期間であることから、直近1ヶ月を採用することが算定根拠として合理的であり、客観的な企業価値であると判断したためです。

処分価額（2,274円）につきましては、取締役会決議日の前営業日終値（2,286円）に比べ0.52%のディスカウント、取締役会決議日の直前3ヶ月間の終値の単純平均値2,065円（円未満切捨て）に比べ10.12%のプレミアム、取締役会決議日の直前6ヶ月間の終値の単純平均値1,893円（円未満切捨て）に比べ20.13%のプレミアムとなります。

なお、本自己株式処分に関しまして、監査役4名全員（うち社外監査役3名）から、上記算定根拠による処分価額の決定は適正・妥当であり、かつ日本証券業協会の「第三者割当増資の取扱いに関する指針」に準拠したものであり、処分予定先に対する特に有利な処分価額には該当しない旨の意見を得ております。

(2) 処分数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した根拠

本第三者割当により京王電鉄株式会社及びキッコーマン株式会社に対して割当てる株式数は550,000株であり、これは当社普通株式の発行済株式数5,229,940株の10.52%（平成26年2月25日現在の議決権の総数46,779個の11.76%）に相当し、一定の希薄化が生じます。

しかしながら、当社といたしましては、本第三者割当の処分予定先とパートナーシップを構築して将来的な相乗効果を図ること、また本第三者割当の手取金を借入金の返済や設備投資資金等に充当して財務内容を改善させ、収益を向上させることは、当社の企業価値及び株主価値の向上に繋がるものと考えており、本第三者割当による処分数量並びに株式の希薄化の規模は合理的であると判断いたしました。

6. 処分予定先の選定理由等

(1) 処分予定先の概要 (平成 25 年 9 月 30 日現在)

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------------------|--|--|------------|-------------|------------|-------------|-------------------------|-------------|---------------------------|-------------|--------------|-------|------------|-------|---------------|-------|---------------------------------------|-------|------------|-------|---------|-------|
| (1) 名 称 | 京王電鉄株式会社 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (2) 所 在 地 | 東京都新宿区新宿三丁目 1 番 24 号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (3) 代表者の役職・氏名 | 代表取締役社長 永田 正 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (4) 事 業 内 容 | 運輸業、流通業、不動産業、レジャー・サービス業、その他 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (5) 資 本 金 | 59,023 百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (6) 設 立 年 月 日 | 昭和 23 年 6 月 1 日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (7) 発 行 済 株 式 数 | 642,754,152 株 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (8) 決 算 期 | 3 月 31 日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (9) 従 業 員 数 | 12,765 名 (連結) 2,370 名 (単体) (平成 25 年 3 月 31 日現在) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (10) 主 要 取 引 先 | 一般顧客 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (11) 主 要 取 引 銀 行 | 株式会社日本政策投資銀行 三井住友信託銀行株式会社 株式会社三菱東京UFJ銀行 三菱UFJ信託銀行株式会社 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (12) 大株主及び持株比率 | <table border="0"> <tr> <td>日本生命保険相互会社</td> <td>5.30%</td> </tr> <tr> <td>太陽生命保険株式会社</td> <td>4.56%</td> </tr> <tr> <td>日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)</td> <td>3.25%</td> </tr> <tr> <td>日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)</td> <td>2.86%</td> </tr> <tr> <td>三井住友信託銀行株式会社</td> <td>2.84%</td> </tr> <tr> <td>第一生命保険株式会社</td> <td>2.47%</td> </tr> <tr> <td>株式会社三菱東京UFJ銀行</td> <td>1.65%</td> </tr> <tr> <td>日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(三井住友信託銀行退職給付信託口)</td> <td>1.56%</td> </tr> <tr> <td>富国生命保険相互会社</td> <td>1.49%</td> </tr> <tr> <td>株式会社京王閣</td> <td>1.13%</td> </tr> </table> | | 日本生命保険相互会社 | 5.30% | 太陽生命保険株式会社 | 4.56% | 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 3.25% | 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 2.86% | 三井住友信託銀行株式会社 | 2.84% | 第一生命保険株式会社 | 2.47% | 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 1.65% | 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(三井住友信託銀行退職給付信託口) | 1.56% | 富国生命保険相互会社 | 1.49% | 株式会社京王閣 | 1.13% |
| 日本生命保険相互会社 | 5.30% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 太陽生命保険株式会社 | 4.56% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 3.25% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 2.86% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 三井住友信託銀行株式会社 | 2.84% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第一生命保険株式会社 | 2.47% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 1.65% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(三井住友信託銀行退職給付信託口) | 1.56% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 富国生命保険相互会社 | 1.49% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 株式会社京王閣 | 1.13% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (13) 当事会社間の関係 | <table border="1"> <tr> <td>資 本 関 係</td> <td>該当事項はありません。</td> </tr> <tr> <td>人 的 関 係</td> <td>該当事項はありません。</td> </tr> <tr> <td>取 引 関 係</td> <td>該当事項はありません。</td> </tr> <tr> <td>関連当事者への 該 当 状 況</td> <td>該当事項はありません。</td> </tr> </table> | | 資 本 関 係 | 該当事項はありません。 | 人 的 関 係 | 該当事項はありません。 | 取 引 関 係 | 該当事項はありません。 | 関連当事者への 該 当 状 況 | 該当事項はありません。 | | | | | | | | | | | | |
| 資 本 関 係 | 該当事項はありません。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 人 的 関 係 | 該当事項はありません。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 取 引 関 係 | 該当事項はありません。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 関連当事者への 該 当 状 況 | 該当事項はありません。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| (14) 最近3年間の経営成績及び財政状態 | | | |
|-----------------------|----------|----------|----------|
| 決算期 | 平成23年3月期 | 平成24年3月期 | 平成25年3月期 |
| 連結純資産 | 251,405 | 260,549 | 278,834 |
| 連結総資産 | 746,979 | 791,640 | 793,293 |
| 1株当たり連結純資産(円) | 411.46 | 426.23 | 456.22 |
| 連結売上高 | 391,172 | 390,472 | 396,860 |
| 連結営業利益 | 28,221 | 29,640 | 28,022 |
| 連結経常利益 | 24,576 | 26,437 | 24,538 |
| 連結当期純利益 | 9,276 | 12,433 | 14,748 |
| 1株当たり連結当期純利益(円) | 15.18 | 20.35 | 24.14 |
| 1株当たり配当金(円) | 6.00 | 6.00 | 8.00 |

(単位：百万円。特記しているものを除く。)

| | |
|----------------|---|
| (1) 名称 | キッコーマン株式会社 |
| (2) 所在地 | 千葉県野田市野田250番地 |
| (3) 代表者の役職・氏名 | 代表取締役社長 堀切 功章 |
| (4) 事業内容 | グループ戦略立案及び各事業会社の統括管理 |
| (5) 資本金 | 11,599百万円 |
| (6) 設立年月日 | 大正6年12月7日 |
| (7) 発行済株式数 | 210,383,202株 |
| (8) 決算期 | 3月31日 |
| (9) 従業員数 | 5,473名(連結)464名(単体)(平成25年3月31日現在) |
| (10) 主要取引先 | グループ内事業子会社 |
| (11) 主要取引銀行 | 株式会社三菱東京UFJ銀行 |
| (12) 大株主及び持株比率 | 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) 6.26% 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) 4.11% 株式会社千秋社 3.19% 株式会社茂木佐 2.92% 明治安田生命保険相互会社 (常任代理人 資産管理サービス信託銀行株式会社) 2.36% 株式会社引高 2.28% 有限会社くしがた 1.98% 株式会社丸仁ホールディングス 1.85% 公益財団法人野田産業科学研究所 1.77% 日本生命相互会社 1.69% |

| | | | |
|--------------------------|--------------|--------------|--------------|
| (13) 当事会社間の関係 | | | |
| 資 本 関 係 | 該当事項はありません。 | | |
| 人 的 関 係 | 該当事項はありません。 | | |
| 取 引 関 係 | 該当事項はありません。 | | |
| 関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況 | 該当事項はありません。 | | |
| (14) 最近3年間の経営成績及び財政状態 | | | |
| 決算期 | 平成 23 年 3 月期 | 平成 24 年 3 月期 | 平成 25 年 3 月期 |
| 連 結 純 資 産 | 162,600 | 167,352 | 187,856 |
| 連 結 総 資 産 | 298,867 | 331,371 | 337,639 |
| 1株当たり連結純資産(円) | 783.58 | 808.40 | 933.68 |
| 連 結 売 上 高 | 283,463 | 283,239 | 300,200 |
| 連 結 営 業 利 益 | 19,208 | 17,764 | 19,817 |
| 連 結 経 常 利 益 | 16,751 | 15,242 | 18,709 |
| 連 結 当 期 純 利 益 | 7,770 | 8,983 | 11,012 |
| 1株当たり連結当期純利益(円) | 37.74 | 43.80 | 54.87 |
| 1株当たり配当金(円) | 15.00 | 15.00 | 20.00 |

(単位：百万円。特記しているものを除く。)

処分予定先である京王電鉄株式会社及びキッコーマン株式会社は株式会社東京証券取引所市場第一部に上場しており、当社といたしましては、処分予定先が株式会社東京証券取引所に提出したコーポレート・ガバナンス報告書における反社会的勢力排除に向けた基本的な考え方及びその整備状況を株式会社東京証券取引所のホームページにて確認することにより、処分予定先及び処分予定先の役員又は主要株主が反社会的勢力ではなく、反社会的勢力とは一切関係していないと判断しております。

(2) 処分予定先を選定した理由

京王電鉄株式会社は、新宿と八王子、渋谷と吉祥寺などを結ぶ鉄道事業を中心に、ホテル、百貨店、建設・不動産など、広範な事業を手がける首都圏を代表する企業です。現在、沿線活性化の一環として高尾山口駅前において、日帰り温浴施設の建設等を進めており、奥高尾を祖業の地とし「うかい鳥山」や「うかい竹亭」などの基幹店を展開する当社とは、固い地縁で結ばれています。今後、集客のための共同プロモーションを予定しているなど、両社の関係が強まることで、世界的な観光スポットである高尾山が、さらに活性化するものと考えます。また、経理、人事、ITなど、当社に足りない人的リソースを補う人事交流を進めることも予定しており、これが実現すれば当社の本社機能の水準を高めることが可能となります。

一方、キッコーマン株式会社は江戸時代からの歴史を持ち、日本の食文化に根ざした調味料「しょうゆ」で圧倒的なシェアを誇る日本の代表企業です。「こころをこめたおいしさで、地球を食のよろこびで満たします」という「キッコーマンの約束」は、そのまま当社の経営理念になるほどの強い親和性があり、日本の調味料の代表企業と日本のレストランの代表企業、この両社の垂直連携で強い日本ブランドを構築し日本の食文化を牽引する、まさにこれ以上のパートナーシップはないものと考えます。また、地道に需要を創造することにより世界 100 か国以上でしょうゆが販売されているように、いわば海外展開の先達であり、当社の海外展開に際し、たとえば現地マーケットの状況や食習慣の特徴、あるいはビジネス構築の具体的な方法などの点で有益なご助言をいただくことを予定しております。

以上の理由により、京王電鉄株式会社とキッコーマン株式会社を、「志を同じくし夢の共有ができる最良のパートナー」として、本第三者割当の処分予定先として選定いたしました。

(3) 処分予定先の保有方針

処分予定先は中長期の保有方針であることを確認しております。

なお、当社は、処分予定先から、処分予定先が払込期日から2年以内に本第三者割当により取得した当社普通株式の全部又は一部を譲渡した場合には、その内容を当社に対し書面により報告すること、当社が当該報告内容を株式会社東京証券取引所に報告すること、並びに当該報告内容が公衆の縦覧に供されることに同意することにつき、確約書を取得する予定です。

(4) 処分予定先の払込みに要する財産の存在について確認した内容

処分予定先の払込みに要する資金等の状況については以下のとおりです。

京王電鉄株式会社

当社は、京王電鉄株式会社の事業年度第93期第3四半期報告書（平成26年2月14日提出）の四半期連結財務諸表により、本第三者割当に係る払込みに必要かつ十分な現預金を有していることを確認しており、本第三者割当に係る払込みについて確実性があるものと判断しております。

キッコーマン株式会社

当社は、キッコーマン株式会社の事業年度第97期第3四半期報告書（平成26年2月13日提出）の四半期連結財務諸表により、本第三者割当に係る払込みに必要かつ十分な現預金を有していることを確認しており、本第三者割当に係る払込みについて確実性があるものと判断しております。

7. 処分後の大株主及び持株比率

| 処分前（平成 25 年 9 月 30 日現在） | | 処 分 後 | |
|--|--------|--|--------|
| うかい商事株式会社 | 14.63% | うかい商事株式会社 | 14.63% |
| 鵜飼 正紀 | 10.52% | 鵜飼 正紀 | 10.52% |
| 株式会社青山財産ネットワークス | 8.90% | 株式会社青山財産ネットワークス | 8.90% |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 2.85% | 京王電鉄株式会社 | 5.74% |
| 鵜飼 早苗 | 2.06% | キッコーマン株式会社 | 4.78% |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 （従業員持株E S O P信託口・75541口） | 1.94% | 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 2.85% |
| 松井 隆 | 1.44% | 鵜飼 早苗 | 2.06% |
| 株式会社群馬銀行（常任代理人 資産管 理サービス信託銀行株式会社） | 1.38% | 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 （従業員持株E S O P信託口・75541口） | 1.94% |
| 多摩信用金庫 | 1.35% | 松井 隆 | 1.44% |
| 三井住友海上火災保険株式会社 | 1.10% | 株式会社群馬銀行（常任代理人 資産管 理サービス信託銀行株式会社） | 1.38% |

（注）1.平成 25 年 9 月 30 日現在の株主名簿を基準としており、持株比率は発行済株式総数（5,229,940 株）を分母として計算しております。なお、同日現在、自己株式 550,950 株を保有しております。

2.処分後の持株比率については、平成 25 年 9 月 30 日現在の株主名簿を基準に本第三者割当による変動を反映しております。なお、本第三者割当後、自己株式は 950 株となります。

3.持株比率は、小数点以下第三位を四捨五入しております。

8. 今後の見通し

本第三者割当による平成 26 年 3 月期の業績への影響は軽微であると予想されます。

9. 企業行動規範上の手続きに関する事項

本第三者割当は、①希薄化率が 25%未満であること、②支配株主の異動を伴うものではないことから、東京証券取引所の定める有価証券上場規程第 432 条に定める独立第三者からの意見入手及び株主の意思確認手続きは要しません。

10. 支配株主との取引等に関する事項

本第三者割当は、支配株主との取引に該当いたしません。

11. 最近3年間の業績及びエクイティ・ファイナンスの状況

(1) 最近3年間の業績

| | 平成23年3期 | 平成24年3期 | 平成25年3期 |
|------------|-----------|-----------|-----------|
| 売上高 | 11,089百万円 | 11,622百万円 | 11,687百万円 |
| 営業利益 | 159百万円 | 572百万円 | 379百万円 |
| 経常利益 | 45百万円 | 471百万円 | 212百万円 |
| 当期純利益 | △689百万円 | 312百万円 | 171百万円 |
| 1株当たり当期純利益 | △140.13円 | 63.53円 | 34.74円 |
| 1株当たり配当金 | 5.00円 | 10.00円 | 12.00円 |
| 1株当たり純資産 | 723.70円 | 782.39円 | 809.98円 |

(注) 単体の財務数値等を記載しております。

(2) 現時点における発行済株式数及び潜在株式数の状況 (平成25年9月30日現在)

| | 株式数 | 発行済株式数に対する比率 |
|-------------------------|------------|--------------|
| 発行済株式数 | 5,229,940株 | 100.00% |
| 現時点の転換価額(行使価額)における潜在株式数 | 18,500株 | 0.35% |
| 下限値の転換価額(行使価額)における潜在株式数 | －株 | － |
| 上限値の転換価額(行使価額)における潜在株式数 | －株 | － |

(3) 最近の株価の状況

① 最近3年間の状況

| | 平成23年3月期 | 平成24年3月期 | 平成25年3月期 |
|----|----------|----------|----------|
| 始値 | 1,720円 | 1,551円 | 1,482円 |
| 高値 | 1,800円 | 1,559円 | 1,808円 |
| 安値 | 1,522円 | 1,430円 | 1,375円 |
| 終値 | 1,560円 | 1,482円 | 1,657円 |

② 最近6か月間の状況

| | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 |
|----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 始値 | 1,698円 | 1,700円 | 1,749円 | 1,711円 | 1,785円 | 1,999円 |
| 高値 | 1,744円 | 1,750円 | 1,749円 | 1,790円 | 1,939円 | 2,580円 |
| 安値 | 1,670円 | 1,688円 | 1,705円 | 1,711円 | 1,766円 | 1,952円 |
| 終値 | 1,700円 | 1,739円 | 1,711円 | 1,786円 | 1,938円 | 2,206円 |

③ 発行決議日前営業日における株価

| | 平成 26 年 2 月 25 日 |
|-----|------------------|
| 始 値 | 2,272 円 |
| 高 値 | 2,286 円 |
| 安 値 | 2,272 円 |
| 終 値 | 2,286 円 |

(4) 最近3年間のエクイティ・ファイナンスの状況

・第三者割当（従業員持株E S O P信託）

| | |
|----------------|--------------------------------|
| 払 込 期 日 | 平成 24 年 8 月 30 日 |
| 調 達 資 金 の 額 | 179,922,400 円 |
| 発 行 価 格 | 1,444 円 |
| 募集時における発行済株式数 | 5,229,940 株 |
| 当該募集による発行株式数 | 一株 |
| 募集後における発行済株式総数 | 5,229,940 株 |
| 割 当 先 | 三菱UFJ信託銀行株式会社（従業員持株E S O P信託口） |
| 発行時における当初の資金使途 | 既存店舗の設備投資資金 |
| 発行時における支出予定時期 | 平成 25 年 3 月期分 |
| 現時点における充当状況 | 全額充当済 |

12. 処分要項

| | |
|-------------------------|---|
| (1) 処 分 期 日 | 平成 26 年 3 月 14 日 |
| (2) 処 分 株 式 数 | 普通株式 550,000 株 |
| (3) 処 分 価 額 | 1 株につき 2,274 円 |
| (4) 調 達 資 金 の 額 | 1,250,700,000 円 |
| (5) 募集又は割当方法 (処分予定先) | 第三者割当の方法により、以下の処分予定先に対して以下の株式数を割当てます。 京王電鉄株式会社 300,000 株 キッコーマン株式会社 250,000 株 |
| (6) そ の 他 | 前記各号については、金融商品取引法による有価証券届出書の効力発生を条件とする。 |

以上